

【授業科目】地域看護学実習Ⅱ(保健所・市町保健センター) Community Health Nursing PracticumⅡ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大谷喜美江、後藤由紀、 多次淳一郎、佐藤優子	4年次 通年	選択	3	135	実習	あり	巻末 掲載	否
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対するフィードバック 方法	授業概要／地域で展開されている保健・医療・福祉に関わる保健師活動や各種健康増進事業を臨地で学習することにより、生活者である地域住民の支援に必要な基本的な知識・技術を習得する。地域、個人・集団のアセスメントおよび支援計画の立案、部分的な実施をとおして、公衆衛生看護の専門性・役割を学習する。 課題に対するフィードバック方法／提出された記録物にコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを公開する。 *実務経験を持つ教員が授業を進める。							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「国際的視野で看護を考え、ヘルスケアシステムにおける看護の専門性を理解し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の顕在化、潜在化している健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画立案し、評価指標を検討することができる。 ②対象の成長・発達、健康課題に応じた保健活動を検討し、一部実施・評価を行い、今後のフォローアップを検討できる。 ③地域の人々、関係者、組織・機関との連携・協働の実際を理解できる。 ④保健・医療・福祉及び社会に関する最新の知識・技術を説明できる。 ⑤地域看護活動における管理的な活動の意味を理解し、保健師に必要な能力を検討できる。 							
時間外学習 に必要な 内容・時間	※詳細については、実習要項を参照してください。							
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間は、令和6年6月24日～令和6年10月11日のうち15日間 ・実習時間は、原則として、8:30～16:30 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション配布資料を参照してください。					大谷 後藤 多次 佐藤		
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照してください。							
学生への 助言等	地域看護学概論、地域看護活動論Ⅰ～Ⅳ、健康教育論で学習した内容を実習と関連させて取り組んでください。また事前課題を提示しますので、十分な準備を行うようにしてください。基礎的知識の量が、実習における学びの充実を左右します。 グループダイナミクスを活用し、互いに学び合う姿勢を大切にして実習に取り組んでください。							